

ささえ愛

VOL. 041

発行 令和4年10月

発行元 坂井市福祉委員幹事会
(坂井市社会福祉協議会)

「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

第9期福祉委員だよ！全員集合！ 地区福祉委員会 開催！

令和4年8月から9月にかけて、各地区で福祉委員会が開催されました。福祉委員同士だからこそ話せることや悩みごとの共有、そして先輩福祉委員が今年初めて福祉委員になった方へ活動のアドバイスをやっている様子も見られました。



新任福祉委員



＼こんなことが話し合われていました！／

先輩委員 & 新任委員
やり取りをピックアップ



先輩福祉委員



Q. 仕事が忙しくてなかなか活動できない。

A. できることから少しずつ活動しよう！挨拶も立派な活動！



Q. 誰を見守ればいいのか分からない。

A. 心くしの会が行っている情報交換会に参加してみよう。もしくは、民生委員さんと話をしてみよう！

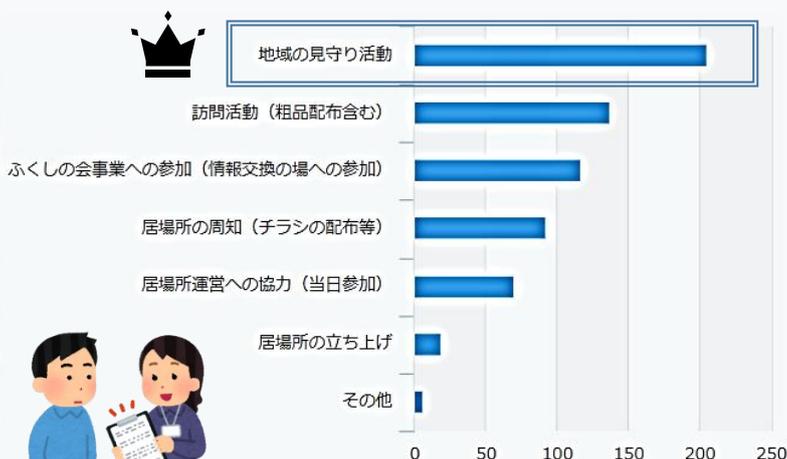


Q. 全く知らない人の家に訪問しに行けない。

A. 顔が広い民生委員さんや区長さんと一緒に訪問しにいこう！



また、閉会后に〔活動に関するアンケート〕を実施しました。今回は「今後どのようなことが実施できそうか」という項目の結果をご紹介します。他の項目結果については坂井市社協 HP にて掲載していますので、気になる方は是非ご覧ください。



アンケートの結果から多くの福祉委員が『見守り活動なら出来そう！』と感じていることが分かりました(約2人に1人が回答) その他に『何もできない(未回答)』という回答は少なく、熱意を持った委員が多くいることも分かりました。 今後は、そんな委員の姿をクローズアップし、私たち委員の活動に多くの方が協力してもらえるような雰囲気づくりに努めたいと思います！



ある日の様子

丸岡町 鳴鹿地区福祉委員 河原 定一

どこも見守り対象者が年々増えている現状かと思えます。そのような現状のなか福祉委員や区長、民生委員・児童委員だけで、見守りをするのは正直困難を極めます。そこで自分の区では、福祉委員や区長、民生委員の3者で見守り対象者のご近所さんにも協力をお願いしています。やはり普段から自然と目に入るような家の距離感でなければ早期発見は難しいです。見守りを通じて、地域の皆さんが繋がり、昔のような向こう三軒両隣の関係が当たり前になればと思います。

きいてきたぞー

春江町 南部地区福祉委員 坪内 優三

コロナ禍により行事活動が進められないなかで、どこか他人事であった災害や防災について取り組むことは逆に今がチャンス！かもしれません。春江南部地区では災害に備えて「災害時！わたしたちができること」を課題として防災研修が行われました。研修では、近日福井県南越前町で発生した洪水災害へのボランティア活動についても紹介されました。各地区内の自主防災組織強化のために、災害によるライフライン停止に備えた備蓄品の確認、自分自身と家族の安全確保はもちろんのこと、防災訓練や避難訓練などの取り組みが大事！区長を中心に各班役割分担の組織推進を図り、災害時に対応できるような備え活動が大事ですよ。

災害時に支え合う関係づくり 自助・公助とくに「共助」が大事！

楽しい家庭

自助

自分と家族の安全を守る住民一人の活動

豊かな人生

共助

地区・地区全体で市民が協働する自主防災組織などの活動

安心できる地域

公助

行政や公的機関に課題を解決する災害・防災機関による対応

ここで一言

坂井町 兵庫地区福祉委員 内江 輝三

新型コロナウイルス感染防止対策の為、3年連続で兵庫地区の「敬老の集い」が中止になり今年も対象者に対して見守り活動を兼ねての御祝い品の配布となりました。ところで、皆さんは平均寿命と健康寿命の事をご存じでしょうか。今回は健康寿命を延ばす秘訣をお教えしましょう。健康寿命を延ばすには【きょういく】と【きょうよう】が大事です。【きょういく】とは『今日、行く今所が有る』、【きょうよう】とは『今日、用事がある』ということです。自分の趣味を持つ事や家に閉じこもっていないで集まりに参加する事が健康寿命を延ばす秘訣です。その事を頭に入れてお互いに頑張りましょう。

各支部連絡先

- 本部 TEL : 68-5070
- みくに支部 TEL : 82-1170
- まるおか支部 TEL : 68-5060
- はるえ支部 TEL : 51-4545
- さかい支部 TEL : 67-0699

当情報紙は坂井市社協ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.sakaicityshakyo.jp/>



編集後記

三国町では、3年ぶりに「あい愛まつり」が開催されることになり、福祉委員は、見守り活動の一環として、チラシの全戸配布に協力しました。

コロナ禍で、活動がままならない地区も多いと思いますが、この活動が、地域の住民の皆さまとのコミュニケーションや、困りごとの早期発見のきっかけになるよう願っています。

みくに支部福祉委員会 小林 信義